

(別紙)

障害福祉分野のロボット等導入支援事業(令和4年度第二次補正予算分) (施設等に対する導入支援分) 事業報告書

自治体名 福井県

【基本情報】

フリガナ	シャカイフクシホウジン ユウアイカイ
法人名	社会福祉法人 友愛会
フリガナ	ダイサンヤスラギノサト
事業所名	第三やすらぎの郷
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
障害者支援施設	
職員数(常勤換算数)【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	
22.5人	

(1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: 移乗介護 排泄支援 入浴支援
 移動支援 見守り・コミュニケーション

(2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	9人	78件	936件	5分	702人時間	9時間
	2 排泄介助・支援	9人	195件	2,340件	5分	1,755人時間	22時間
	3 生活自立支援(※1)	9人	117件	1,404件	10分	2,106人時間	26時間
	4 行動上の問題への対応(※2)	9人	15件	180件	15分	405人時間	5時間
	5 その他の直接介護	9人	195件	2,340件	45分	15,795人時間	195時間
間接業務	6 巡回・移動	9人	4件	48件	15分	108人時間	1時間
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)	4人	195件	2,340件	60分	9,360人時間	585時間
	8 見守り機器の使用・確認	0人	0件	0件	0分	0人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務	4人	78件	936件	45分	2,808人時間	176時間
			877件	10,524件	200分	33,039人時間	#DIV/0!

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援

※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等

※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B.ひと月当たり発生件数の算出方法

対象利用者数 × 発生件数

<※2>D.1件当たりの平均処理時間の算出方法

事象発生時から対応完了までの平均時間(多少誤差あり)

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	5人	78件	936件	3分	234人時間	9時間
	2 排泄介助・支援	9人	195件	2,340件	5分	1,755人時間	22時間
	3 生活自立支援(※1)	5人	110件	1,320件	8分	880人時間	35時間
	4 行動上の問題への対応(※2)	9人	15件	180件	15分	405人時間	5時間
	5 その他の直接介護	7人	190件	2,280件	45分	11,970人時間	244時間
間接業務	6 巡回・移動	9人	4件	48件	15分	108人時間	1時間
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)	4人	180件	2,160件	60分	8,640人時間	540時間
	8 見守り機器の使用・確認	0人	0件	0件	0分	0人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務	4人	100件	1,200件	45分	3,600人時間	225時間
			872件	10,464件	196分	27,592人時間	#DIV/0!

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B.ひと月当たり発生件数の算出方法

対象利用者 × 発生件数

<※4>D.1件当たりの平均処理時間の算出方法

事象発生時から対応完了までの平均時間(多少誤差あり)

年間業務時間数想定削減率(%)

16.5%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

--

(4)ロボット機器等の導入により得られた気づきや今後の課題等について必ず記載すること。

- ・二人移乗から一人移乗になり、職員の腰痛軽減、専門性を必要としない。
- ・利用者様の安心確保に繋がる。
- ・日中活動、余暇支援、記録等への時間配分が可能となるが、処理時間の削減は少ない。
- ・利用者様の身体状況により摩擦による擦り傷がみられることがある。
- ・機器の重量により、クッションフロアー利用不可、機器を動作するスペースが必要。

(5)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の縮減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の縮減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下を回答すること。

縮減額(円)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

--

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。

--